

2024年 4月15日

京成電鉄株式会社

## SDGsの取り組みとして食品ロス削減に貢献 災害用備蓄食品を寄付しました

京成電鉄（本社：千葉県市川市、社長：小林 敏也）では、賞味期限が近付いた災害用備蓄食品の入れ替えに伴い、駅係員や乗務員などの従業員向けに配備していた災害用備蓄食品をフードバンクちばへ寄付しました。

今回寄付した災害用備蓄食品は、フードバンクちばを通じて、食の支援が必要な個人・団体・施設へ配布されます。

京成グループでは、長期経営計画「Dプラン」及び中期経営計画「D1プラン」において、「エコロジカルなまちづくりの推進」を重点施策に掲げ、食品ロス削減及び食品支援によるサステナブルな社会の実現に向けた取り組みを推進しております。

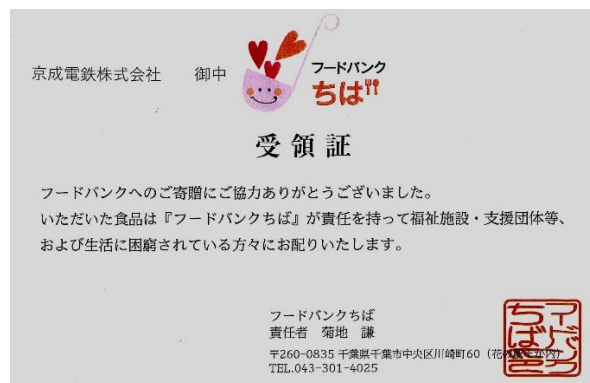
今後も地域社会のサステナビリティ実現をサポートし、SDGsに貢献して参ります。

### 1. 寄付する災害用備蓄食品について

アルファ化米：わかめご飯、五目ご飯、ドライカレー 約3,300食

### 2. 寄付先について

- 名称：フードバンクちば
- 代表：菊地 謙
- 概要：梱包の問題等の理由で市場に流通出来なくなった食料品や災害時の備蓄品等の寄付を各企業より受け、高齢者・障害者支援施設や生活困窮者に配布し支援を行うと共に、食品ロスを防ぐことを目指す福祉活動団体



以上